

教育セミナーテキスト 第5版

正誤表 および 追加図表

■ 骨軟部腫瘍 160頁 左段

表 1. 骨原発悪性腫瘍の病期分類

誤： 病期

I A	G1, 2, GX	最大腫瘍径 8 cm 以下
I B	G1, 2, GX	最大腫瘍径 8 cm 超
II A	G3, 4	最大腫瘍径 8 cm 以下
II B	G3, 4	最大腫瘍径 8 cm 超
III	G3, 4, スキップ転移あり	
III	肺転移あり	
III	N1 or 肺転移あり	

正： 病期

I A	G1, 2, GX	最大腫瘍径 8 cm 以下
I B	G1, 2, GX	最大腫瘍径 8 cm 超
II A	G3, 4	最大腫瘍径 8 cm 以下
II B	G3, 4	最大腫瘍径 8 cm 超
III	G3, 4, スキップ転移あり	
<b>IVA</b>	肺転移あり	
<b>IVB</b>	N1 or 肺転移あり	

■ 皮膚がん 171頁 右段 28行目

誤： (2) 解剖学的部位：原発巣が耳あるいは口唇（毛のない所）

正： (2) 解剖学的部位：原発巣が耳あるいは口唇有毛部

■ 小児がん 191頁 左段 12行目

表 4. 神経芽腫のリスク分類と治療

（裏面に追加図表があります）

表 4. 神経芽腫のリスク分類と治療

分類	リスク因子	治療
低リスク群	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>MYCN</i> 遺伝子増幅がなく、INSS 分類 stage 1, 2A, 2B</li> <li>• <i>MYCN</i> 遺伝子増幅がない、1 歳未満の INSS 分類 stage 3</li> <li>• INPC 分類で予後良好群に属し、DNA index が 1 以上の INSS 分類 stage 4S</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 腫瘍が一次的に全摘された場合は外科的治療のみ</li> <li>• 腫瘍残存が認められる場合でも比較的治療強度の低い化学療法が選択</li> <li>• 無病生存率は 90 %以上</li> </ul>
中間リスク群	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>MYCN</i> 遺伝子増幅がない 1 歳～1 歳半の INSS 分類 stage 3</li> <li>• <i>MYCN</i> 遺伝子増幅がない 1 歳未満の INSS 分類 stage 4</li> <li>• <i>MYCN</i> 遺伝子増幅がなく、INPC 分類で予後良好群に属し、DNA index が 1 以上の 1 歳～1 歳半の INSS 分類 stage 4</li> <li>• <i>MYCN</i> 遺伝子増幅がなく、かつ INPC 分類で予後不良群に属するかまたは、DNA index が 1 の INSS 分類 stage 4S</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手術と化学療法を併用</li> <li>• 低リスクより化学療法の強度、期間ともに強力に行う</li> <li>• 転移例には転移部に放射線照射を併用</li> <li>• 無病生存率は 70-90 %</li> </ul>
高リスク群	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>MYCN</i> 遺伝子増幅がある INSS 分類 stage 2A, 2B, 3, 4, 4S</li> <li>• <i>MYCN</i> 遺伝子増幅がない 1 歳半以上の INSS 分類 stage 3 の児で、INPC 分類で予後不良群に属するもの</li> <li>• <i>MYCN</i> 遺伝子増幅がない、1 歳半以上の INSS 分類 stage 4</li> <li>• <i>MYCN</i> 遺伝子増幅がない 1 歳～1 歳半の INSS 分類 stage 4 で、INPC 分類で予後不良群もしくは DNA index が 1 を示すもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 腫瘍生検による診断確定</li> <li>• 多剤併用化学療法による腫瘍縮小</li> <li>• 二期的腫瘍摘除術</li> <li>• 自家造血幹細胞移植を併用した超大量化学療法</li> <li>• 残存腫瘍や転移部位には放射線照射を併用</li> <li>• 骨髄機能回復後の 13-cis レチノイン酸による分化誘導療法</li> <li>• 無病生存率は 50 %前後</li> </ul>

上記 2 点につきまして、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

ご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせ願います。

日本がん治療認定医機構 教育委員会

【問合せ先】一般社団法人 日本がん治療認定医機構 事務局

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5F (財) 国際医学情報センター内

TEL : 03-5361-7105 FAX : 03-5361-7091 Email : c-info@imic.or.jp

(2012/08/20)